

令和7年度 愛知県立明和高等学校音楽科 推薦選抜 特別検査実施要項

1 出願資格及び出願の手続き等

「令和7年度愛知県公立高等学校入学者選抜実施要項」及び「令和7年度愛知県立明和高等学校音楽科推薦選抜実施要項（抜粋）」（本要項の5ページ参照）による。

特別検査に関する出願手続きについては、本要項の3ページ「5 特別検査に関する出願手続き」を参照すること。

2 面接及び特別検査の実施期日

面接 令和7年2月6日（木）集団面接で行う。

特別検査 令和7年2月6日（木）及び同年2月7日（金）

3 面接、特別検査の日程

日	時	8:30	8:45～	9:30～	9:45～	面接終了後～17:00頃
2月6日(木)		集合 (点呼)	聴音	新曲視唱	面接	専攻別検査 (ピアノ専攻志望者)
2月7日(金)		専攻別検査 (弦・管・打楽器・声楽専攻志望者)				

(1) 集合時間等

ア 2月6日（木）は8時30分までに全員集合する。（8時10分以降に本校音楽棟玄関から入室可。）また、ピアノ専攻志望者の専攻別検査は、グループごとに集合する。

イ 2月7日（金）の弦・管・打楽器・声楽専攻志望者の専攻別検査は、各専攻のグループごとに集合する。

上記の時間は予定であり、志願者数確定後に専攻別検査の集合時間等を決定し、2月4日（火）に本校 Web ページに掲載する。

集合時間を確認のうえ、遅れないように集合すること。集合時間に遅刻した場合は、受検できなくなることがあるので注意すること。

(2) 受検票、上履き、筆記用具を持参のこと。

(3) スマートフォン等の情報通信機器は持ち込めないので注意すること。

4 特別検査の内容

(1) 専攻別検査

ア ピアノ専攻志望者

- (ア) ベートーヴェン ピアノソナタ (第1楽章又は終楽章)
BEETHOVEN Klaviersonaten
- (イ) 練習曲
ツェルニー 50番
CZERNY Kunst der Fingerfertigkeit Op.740
クラマー=ビューロー 60の練習曲
CRAMER=BÜLOW 60 ausgewählte Etüden
モシュコフスキー 15の練習曲
MOSZKOWSKI 15 Études de Virtuosité Op.72
- (ウ) J.S.バッハ 平均律クラヴィーア曲集より フーガ
J.S.BACH Das Wohltemperierte Klavier (Fuga)

上記(ア)、(イ)、(ウ)について、それぞれ任意の1曲を暗譜演奏する。

イ 声楽専攻志望者

- (ア) 任意の独唱曲1曲を暗譜演奏する。
- (イ) コンコーネ 50番
CONCONE 50 LESSONS Op.9
任意の1曲を母音唱で暗譜演奏する。(高声用と中声用のいずれでもよい。)
- (ウ) 任意のピアノ曲1曲を演奏する。

ウ 弦・管・打楽器専攻志望者

- (ア) 任意の独奏曲1曲を暗譜演奏する。
- (イ) 音階又は基礎打ち
音階については、譜面上 #、b それぞれ二つまでの長短調を課題とし、本要項の7ページ「専攻楽器別音階等楽譜及び注意事項(弦・管・打)」による。
- (ウ) 任意のピアノ曲1曲を演奏する。

(2) 聴音及び新曲視唱

旋律聴音、二声による旋律聴音、和声聴音(四声体による。)及び新曲視唱を行う。

5 特別検査に関する出願手続き

(1) 専攻別検査演奏曲目個票

愛知県公立高等学校入学者選抜 Web 出願システムに登録する。

出願後の変更は認めない。

コントラバス、マリimbaについては、学校の楽器を使用することができるので、希望する場合は、備考欄に登録すること。(弓、バチについては各自持参する。)

上記の楽器及びピアノを除いて楽器は持参すること。なお、これら以外の自己所有の大型楽器を使用する際にも備考欄にその旨を登録すること。

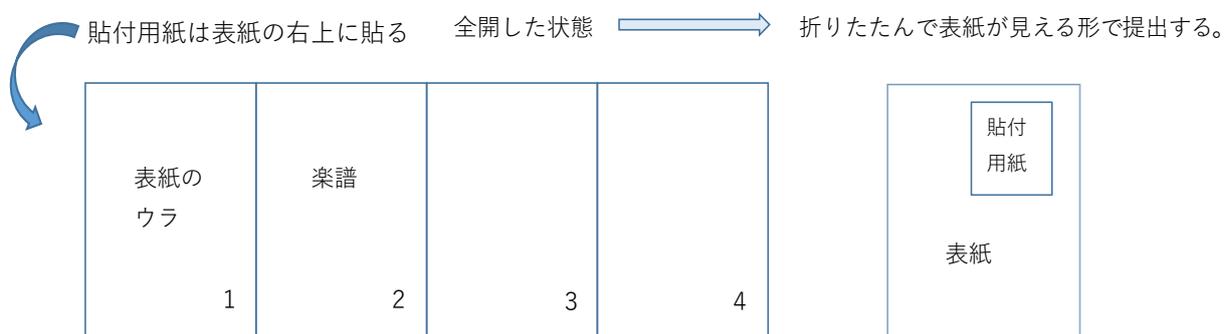
(2) 任意の独唱曲、コンコーネの伴奏用楽譜 (声楽専攻志望者のみ)

次の期間に本校に持参又は郵送により提出する。

令和7年1月27日(月)から同年2月3日(月)

持参の場合は、1月27日(月)から1月31日(金)までは9時から17時まで、2月3日(月)は9時から15時までとする。ただし、土曜日及び日曜日を除く。また、郵送の場合は、提出締切日時までに必着のこと。

A4の大きさの台紙に1ページずつ貼り、それらを全開できるようにつなげること。本要項の6ページ「声楽専攻志望者用 伴奏楽譜貼付用紙 (推薦選抜用)」の該当する部分を切り取って記入し、楽譜の表紙の右上に貼付すること。楽譜は返却しない。



楽譜送付先

〒461-0011 名古屋市東区白壁二丁目 32 番 6 号

愛知県立明和高等学校 行

朱書きで「音楽科特別検査提出楽譜在中」と記入すること。

封筒の裏面には、志願者の「住所」「中学校名」「氏名」を記入すること。

(3) 任意の独奏曲の楽譜 (打楽器専攻志望者のうち、小太鼓のみ)

次の期間に本校に持参又は郵送により提出する。

令和7年1月27日(月)から同年2月3日(月)

持参の場合は、1月27日(月)から1月31日(金)までは9時から17時まで、2月3日(月)は9時から15時までとする。ただし、土曜日及び日曜日を除く。また、郵送の場合は、提出締切日時までに必着のこと。

本要項の6ページ「打楽器専攻志望者用(小太鼓のみ) 楽譜貼付用紙(推薦選抜用)」を切り取って記入し、楽譜の表紙の右上に貼付すること。台紙をつける必要はない。楽譜は返却しない。

楽譜送付先

〒461-0011 名古屋市東区白壁二丁目 32 番 6 号

愛知県立明和高等学校 行

朱書きで「音楽科特別検査提出楽譜在中」と記入すること。

封筒の裏面には、志願者の「住所」「中学校名」「氏名」を記入すること。

6 特別検査実施上の注意事項

(1) 専攻別検査

ア 全専攻

器楽演奏については、ダ・カーポ、ダル・セーニョ以外の反復記号は省略して演奏すること。(ただし8小節以内の繰り返しは自由とする。)

イ ピアノ専攻志望者

バッハ⇒練習曲⇒ベートーヴェン・ソナタの順で演奏すること。

ウ 声楽専攻志望者

コンコーネ⇒任意の独唱曲の順に演奏すること。

独唱曲の反復は、記譜のとおり歌うこと。

ピアノ伴奏は学校側で行う。

任意のピアノ曲の演奏は、当日指定された時間に演奏する。暗譜でなくてもよい。

エ 弦・管・打楽器専攻志望者

音階又は基礎打ち⇒任意の独奏曲の順に演奏すること。

音階又は基礎打ちについては、本要項の7ページ「専攻楽器別音階等楽譜及び注意事項(弦・管・打)」によること。

演奏は全て無伴奏で行うこと。

任意のピアノ曲の演奏は、当日指定された時間に演奏する。暗譜でなくてもよい。

(2) 聴音

定規、消しゴム、鉛筆(Bまたは2B程度とし、シャープペンシルは避けること)を持参する。

(3) 新曲視唱

階名唱・母音唱、及び固定ド・移動ドは自由とする。

7 その他

県外からの入学志願者は、自己の居住する都道府県の公立高等学校と本県の公立高等学校全日制課程に、併せて出願することはできない。

令和7年度愛知県立明和高等学校 音楽科 推薦選抜実施要項（抜粋）

1 出願資格

本校音楽科の推薦選抜に出願することのできる者は、次の(1)から(3)までの全ての条件及び「2 推薦基準」を満たし、中学校長（義務教育学校及び中等教育学校の校長を含む。以下同じ。）の推薦を得た者とする。

- (1) 令和7年3月に中学校若しくは義務教育学校を卒業する見込みの者、又は中等教育学校の前期課程を修了する見込みの者
- (2) 本校音楽科を志望する動機・理由が明白・適切で、当該学科に対する適性及び興味・関心を有すること。
- (3) 人物及び学習成績が優れていること。

2 推薦基準

- (1) 「㊦ 人物が優れており、音楽の分野で、優れた能力・適性及び実績等を有する者」として、本校音楽科の教育課程を履修する学力を有すること。（実績等には、自身の技能の更なる向上を目指して努力した成果を含む。）
- (2) 「㊧ 人物が優れており、恵まれない環境を克服し、向学心に富み、生活態度が他の模範となる者」として、本校音楽科の教育課程を履修する学力を有するとともに、保護者又は志願者が「令和7年度愛知県公立高等学校入学者選抜実施要項」に示す「『恵まれない環境』に該当する事由及び証する書類」の事由のいずれかに該当すること。
- (3) 本校の推薦選抜において特に重視すること
ア 音楽の分野で優れた能力・適性を有するとともに、本校の音楽科で学ぶ分野への関心が高く、その知識や技術の習得に積極的に取り組む意欲のあること。
イ 将来に向けて明確な進路希望をもち、その実現に向けてねばり強く取り組むことができること。

3 合格者数

推薦選抜の合格者は、本校音楽科の募集人員の30%程度から45%程度とする。

なお、「人物が優れており、恵まれない環境を克服し、向学心に富み、生活態度が他の模範となる者」の募集については、当該学科の募集人員のおおむね5%とし、上記に含む。

声乐専攻志望者用 伴奏楽譜貼付用紙（推薦選抜用）

切り取って記入し、楽譜の表紙の右上に貼付して提出する。

※受検番号は記入しない

声乐コンコーネ伴奏楽譜貼付

受検番号	※
氏名	
コンコーネ 50番	()番
調性	()調

任意独唱曲伴奏楽譜貼付

受検番号	※
氏名	
曲目 (原語で)	
調性	()調

打楽器専攻志望者用（小太鼓のみ） 楽譜貼付用紙（推薦選抜用）

切り取って記入し、楽譜の表紙の右上に貼付して提出する。

※受検番号は記入しない

小太鼓任意独奏曲貼付

受検番号	※
氏名	
曲目 (原語で)	

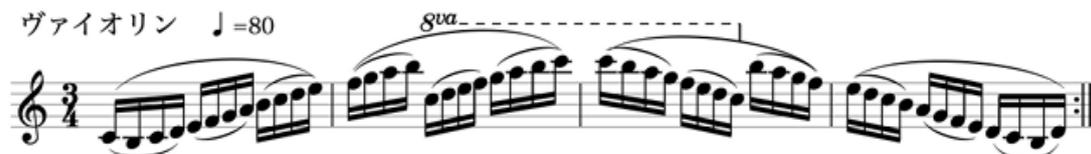
専攻楽器別音階等楽譜及び注意事項（弦・管・打）

1 弦楽器

演奏方法

- (1) 各楽器とも下記譜例の音階を2種類のボウイングで演奏する。なお、コントラバスについては、2回目はデタッチュで演奏する。
- (2) 調性は、ヴァイオリンはハ長調、ヴィオラ、チェロはニ長調、コントラバスについてはヘ長調を演奏する。
- (3) テンポは、各楽器ごとの指定以上とする。

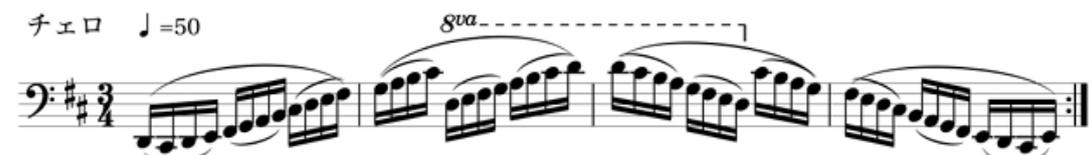
ヴァイオリン ♩=80



ヴィオラ ♩=80



チェロ ♩=50



コントラバス ♩=46



2 木管楽器

- (1) 楽譜 A はすべての木管楽器についての基本音型とする。
(ただし楽器により、オクターブ関係は問わない)
- (2) a, b の音域、及びアーティキュレーション、テンポ等について、次のア～ウの条件により各自任意選択する。
 - ア 楽器の特性（音域等）
 - イ 調性
 - ウ 技術の到達度
- (3) ハ長調 ト長調 ヘ長調 ニ長調 変ロ長調 とそれぞれの平行（並行）短調の中から当日指定する調を演奏する。ただし短音階は和声的短音階とする。

3 金管楽器

- (1) 楽譜 B はすべての金管楽器についての基本音型とする。
(ただし楽器により、オクターブ関係は問わない)
- (2) a, b, c の音域、及びアーティキュレーション、テンポ等について、次のア～ウの条件により各自任意選択する。
 - ア 楽器の特性（音域等）
 - イ 調性
 - ウ 技術の到達度
- (3) ハ長調 ト長調 ヘ長調 ニ長調 変ロ長調 とそれぞれの平行（並行）短調の中から当日指定する調を演奏する。ただし短音階は和声的短音階とする。

4 打楽器

- (1) マリンバ
 - ア 楽譜 C を基本音型とする。
 - イ アーティキュレーション、テンポ等については、技術の到達度により任意とする。
 - ウ ハ長調 ト長調 ヘ長調 ニ長調 変ロ長調 とそれぞれの平行（並行）短調の中から当日指定する調を演奏する。ただし短音階は和声的短音階とする。
- (2) 小太鼓
 - ア 楽譜 D のリズム打ちとする。
 - イ テンポ等については、技術の到達度により任意とする。

5 ハープ

楽譜 E による。

楽譜 A-a



楽譜 A-b



楽譜 B-a



楽譜 B-b



楽譜 B-c



楽譜 C



楽譜 D

Musical score for '楽譜 D' in bass clef, common time (C). The score consists of four staves. The first staff begins with a treble clef and a key signature of one sharp (F#), then changes to a bass clef. The music features a mix of eighth and sixteenth notes, with several triplet markings (indicated by a '3' above the notes) in the second and third staves. The piece concludes with a double bar line.

楽譜 E

Musical score for '楽譜 E' in grand staff (treble and bass clefs), 4/4 time, and a key signature of two flats (Bb, Eb). The score is divided into three systems. The first system has five measures. The second system has five measures. The third system has four measures, ending with a double bar line. The music is characterized by steady eighth-note patterns in both hands, with some melodic lines in the treble clef.